

## 西鉄貝塚線 香椎駅周辺連続立体交差



発注者	西日本鉄道株式会社
所在地	福岡市
種別	鉄道連立高架橋、高架駅舎
構造	鉄筋コンクリートラーメン高架橋
延長	3.1 km (香椎操車場地区 1.7km 含む)
幅員	5.9m ~ 15.9m
駅舎	
	西鉄香椎駅 1面2線ホーム延長 65m地上 2階
	香椎宮前駅 1面1線ホーム延長 65m地上 2階
	西鉄千早駅 1面2線ホーム延長 65m地上 2階
事業認可	1999年10月27日
高架切替	2006年5月14日
工期	2000年3月 ~ 2007年3月

香椎地区は福岡市の東の副都心として位置づけられ、香椎駅周辺地区と香椎操車場地区の2つの核による副都心形成を目指している。その中において西鉄宮地岳線による地区の分断は、慢性的な交通渋滞の要因であり、また香椎駅周辺地区における総合的な街づくりの妨げになっていた。

香椎駅周辺連続立体交差事業では、隣接する操車場地区 1.7km と合わせて 3.1 km を高架化、西鉄香椎駅、香椎宮前駅、西鉄千早駅が高架化された。また、本事業と共に土地区画整理事業により、幹線道路、駅前広場、区画道路、公園等との一体的整備も進められている。

本高架の構造には、兵庫県南部地震以降の新しい耐震基準の考え方を取り入れた。図らずも 2005 年 3 月に発生した福岡西方沖地震では強い揺れを受けたが被害は生じなかった。